

# LB メディアロック3

メディアやハードディスクに鍵をかける

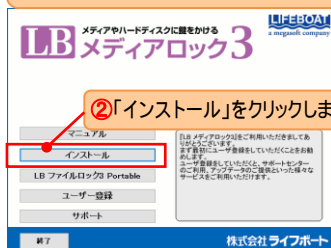
## クイックガイド

このクイックガイドでは『LB メディアロック 3』の簡単な使用方法について説明します。

1. LB メディアロック 3 のインストール
2. 秘密領域の作成と使用方法
3. 他の PC 上で秘密領域を使用する
4. ファイルとフォルダーの暗号化

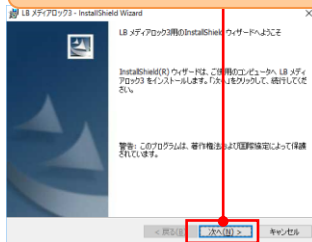
### 1. LB メディアロック 3 のインストール

- ① CD-ROMをPCにセットするとインストールメニューが起動します。



- ② 「インストール」をクリックします。

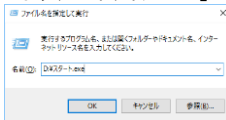
- ③ インストールウィザードが起動します。「次へ」をクリックします。



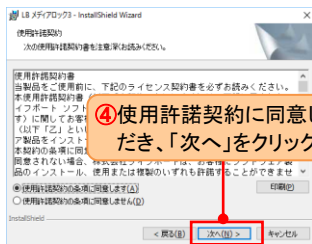
Windows 8 以降の環境に CD-ROM をセットした場合、以下のような画面が表示されるので「スタート.EXE の実行」を選択します。



画面が表示されない場合、「ファイル名を指定して実行」から「D:\スタート.exe」のように入力します(CD ドライブが「D」の場合)。



- ④ 使用許諾契約に同意いただき、「次へ」をクリックします。

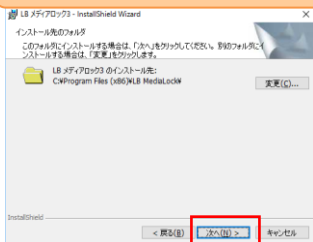


- ⑤ ライセンスキーを入力して「次へ」をクリックします。

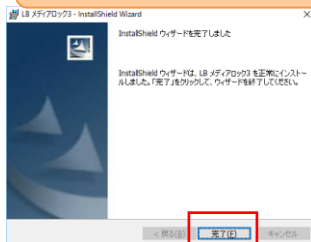


※ライセンスキーは半角英数字で入力する必要があります。ライセンスキーはパッケージ版の場合、「お客様控え」、ダウンロード版は決済完了後に配信されるメールに記載されています。

⑥インストール先を指定して「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。



⑧「完了」をクリックします。コンピュータを再起動してインストールを完了します。

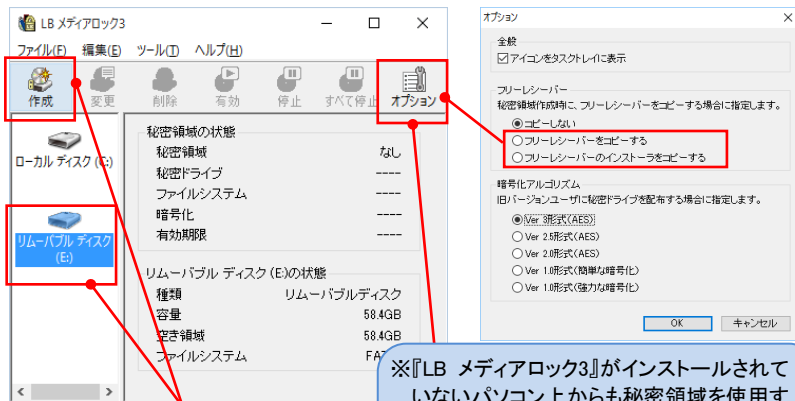


⑦デバイスソフトウェアをインストールするためのセキュリティの警告メッセージが表示される場合、「インストール」をクリックします。



## 2. 秘密領域の作成と使用方法

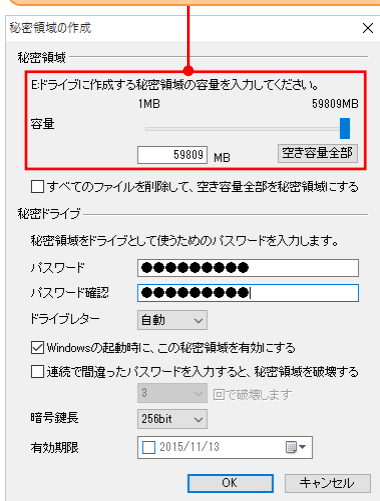
Windows の「スタート」から「すべてのプログラム」-「LB メディアロック3」-「LB メディアロック ユーティリティ」を選択すると「ユーティリティ」が起動します。



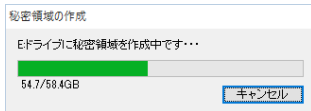
①秘密領域を作成するドライブを選んで、「作成」をクリックします。

※『LB メディアロック3』がインストールされていないパソコン上からも秘密領域を使用する場合は、最初に「オプション」でフリーレーサーをコピーするよう設定した後に「作成」をクリックします。

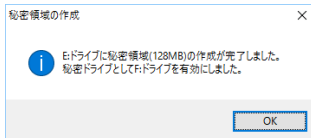
- ② 秘密領域の「容量」を指定、「パスワード」を入力して「OK」をクリックします。



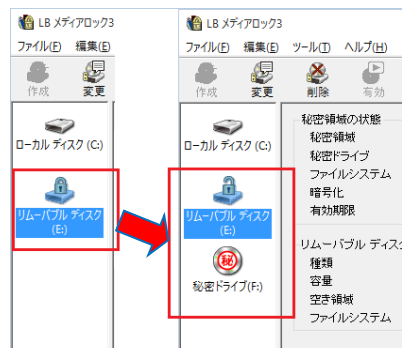
- ③ 秘密領域の作成が開始されます。作成の所要時間はメディアの種類や秘密領域のサイズにより異なります。




- ④ 秘密領域作成完了のメッセージが表示され、秘密領域が有効になります。

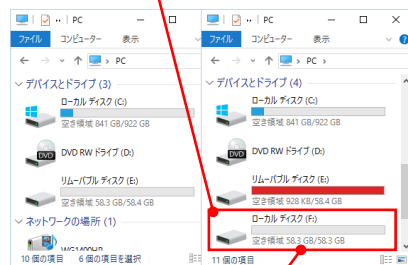


- ⑤ 有効となった秘密領域が、秘密ドライブ (F:)として、ユーティリティ上に表示されます。



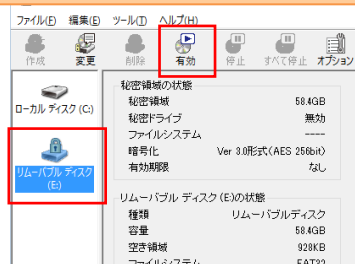
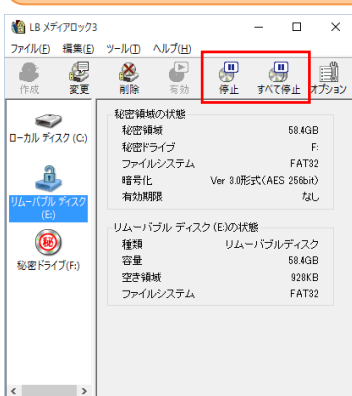
- ※ユーティリティ上から  アイコンをクリックしてもドライブを操作することはできません。  
※秘密ドライブに割り当てられるドライブレター (F:)はご利用の環境により異なります。



- ⑥ エクスプローラーに秘密ドライブ (F:)が表示され、他のドライブと同様に操作できます。



- ※秘密領域は標準でFAT32形式に自動的にフォーマットされます。4GBを超えるファイルや数万単位 of ファイルを保存する場合、NTFSにフォーマットし直してください。フォーマットはエクスプローラー上からWindowsの機能を使用して実行します。

- ⑦データの読み書きが終了したら**停止**または**すべて停止**で秘密領域を停止します。  
パスワードを入力して秘密領域を再度有効にしない限り、保存されたデータにアクセスすることはできません。秘密領域を再度有効にするためには**有効**をクリックします。



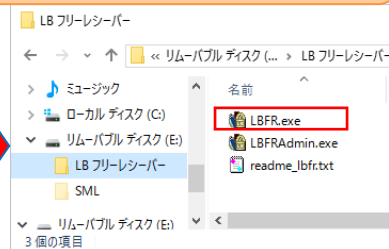
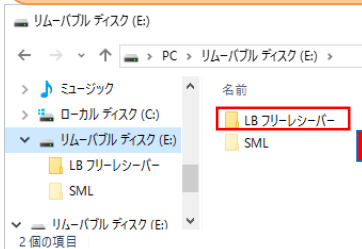
- ⑧秘密領域が停止中の場合  
 アイコンは表示されません。  
 を選択して**有効**をクリック、パスワード  
 入力で秘密領域が有効になります。

### 3. 他の PC 上で秘密領域を使用する

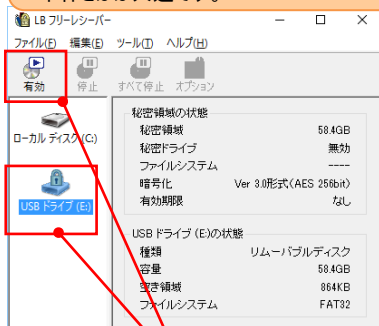
USBフラッシュメモリ等に作成した秘密領域を『LB メディアロック3』がインストールされていないPC上から使用するためには『LB フリーレーサー』を使用します。

- ※管理者権限で Windows にログオンしておく必要があります。
- ※制限ユーザーでフリーレーサーを使用する場合、インストーラ形式のフリーレーサーを使用することができますが、インストール時には管理者権限が必要となります(利用ガイド[第5章])。

- ①フリーレーサーを起動します。  
**E:¥LB フリーレーサー¥LBFR.exe** を実行します (E ドライブ に秘密領域を作成した場合)。  
 インストーラ形式のフリーレーサーは  
**E:¥LB フリーレーサー¥install\_lbfr.exe** を実行するとインストールを開始します。

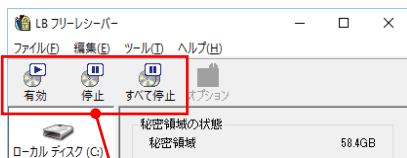
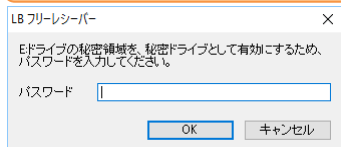


②フリーレシーバーのユーティリティ画面（操作画面）と操作方法は『LB メディアロック3』本体とほぼ共通です。



③秘密領域が存在するドライブを選択して「有効」をクリックします。

④パスワードを入力して「OK」をクリックすると秘密領域が有効になります。



『LB フリーレシーバー』の機能は次の3つです。

1. 秘密領域の認証（パスワード入力）
2. 秘密領域の「有効」「停止」
3. 「編集」（秘密領域に保存されたデータの読み書き）

ステータスアイコンから秘密領域の状態を確認できます。

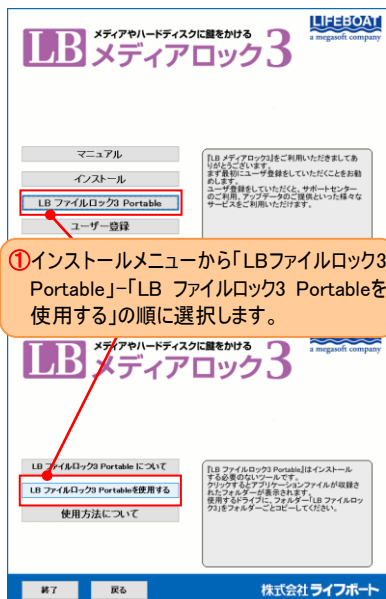
アイコン	説明
	<b>秘密領域が存在するドライブ（パスワード認証済で秘密領域が有効な状態）</b> 現在有効になっている秘密領域が存在するドライブはこのアイコンが表示されます。
	<b>秘密領域が存在するドライブ（秘密領域は停止中）</b> 停止中の秘密領域が存在するドライブはこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウに秘密領域、ドライブの状態が表示されます。
	<b>有効中の秘密領域（秘密ドライブ）※</b> 現在有効になっている秘密領域はこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウに秘密領域の状態が表示されます。
	<b>秘密領域が存在しないドライブ</b> 秘密領域の存在しないドライブはこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウにドライブの状態が表示されます。

※秘密領域内のデータ操作（ファイル/フォルダーの読み書き）はエクスプローラー上から行います。ファイルやフォルダーをユーティリティのアイコン上にドラッグ＆ドロップすることはできません。

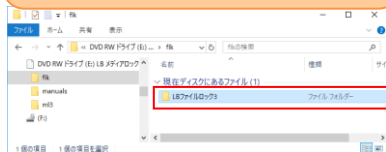
## 4. ファイルとフォルダーの暗号化 (LB ファイルロック 3 Portable)

『LBファイルロック3 Portable』はインストール不要でファイル/フォルダー単位の暗号化をすることができるソフトウェアです。

### アプリケーションの準備

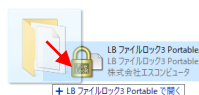


② エクスプローラーが起動して『LB ファイルロック3 Portable』が収録されたフォルダーが表示されます。「LB ファイルロック3」をフォルダーごとメディアへコピーします。

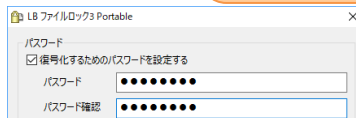


③ 暗号化/復号化は、フォルダーに保存された「LB ファイルロック3 Portable.exe」にファイルをドラッグ & ドロップして実行します。

### 暗号化

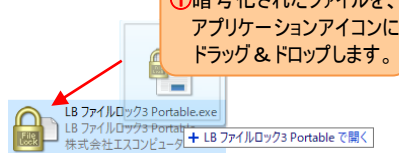


① 暗号化したいファイル/フォルダーをアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップします。



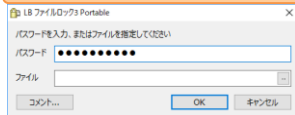
② パスワードを設定して「OK」をクリックすると、暗号化の処理が実行され、指定先に暗号化されたファイル「元のファイル名+.lock」が出力されます。

### 復号化



① 暗号化されたファイルを、アプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップします。

② パスワードを入力して「OK」をクリックします。



### 設定変更

アイコンをダブルクリックしてユーティリティを起動すると、詳細な設定をすることができます。

